

海岸・河川の南海トラフ地震・津波対策の促進

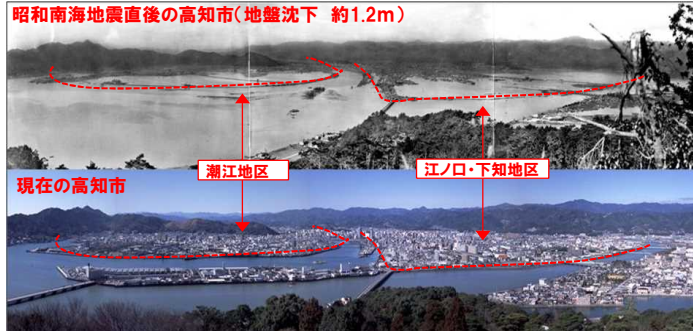
浦戸湾の三重防護の推進
(令和13年度完成に向けて)

◆県人口の約47%が集中し、都市機能が集積する県都・高知市

- 未整備で南海トラフ地震が発生した場合
- ◆約1ヶ月半の長期浸水(浸水範囲2,800ha)
- ◆12万人の長期避難

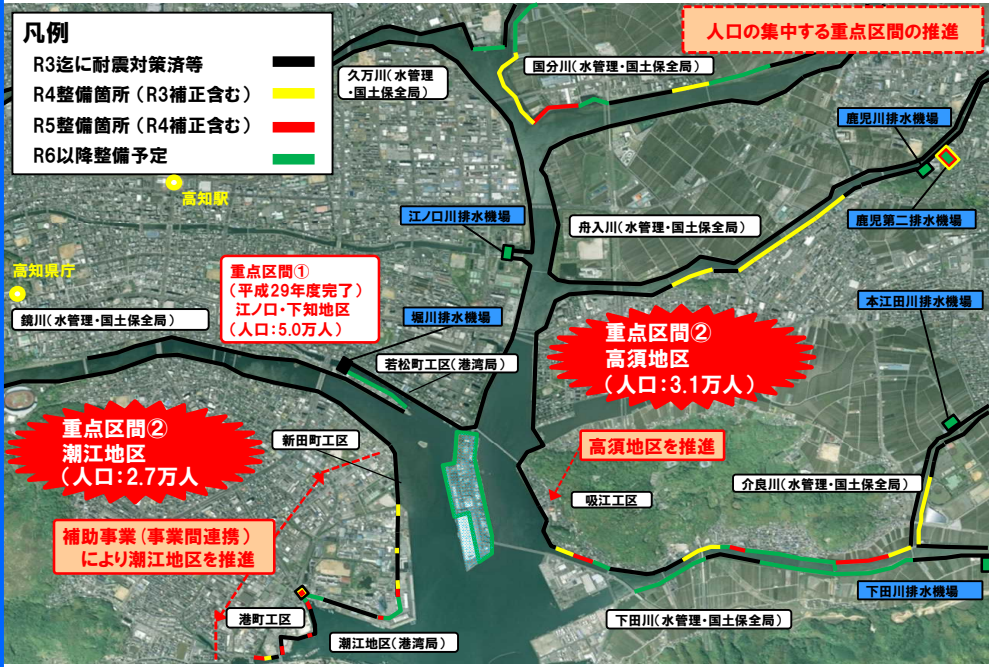
◎地震・津波対策(三重防護+二級河川)による効果

- ◆L1津波時の浸水被害をゼロに!
- ◆L2津波時に対しては浸水期間の短縮による社会経済活動の早期回復へ!



◆県事業の進捗状況(海岸・河川)

- 凡例
- R3迄に耐震対策済等
 - R4整備箇所(R3補正含む)
 - R5整備箇所(R4補正含む)
 - R6以降整備予定



◆浦戸湾の地震・津波対策(海岸・河川)

- 凡例
- 三重防護 国直轄
 - 三重防護 県事業
 - 直轄高知海岸
 - 河川事業



◆整備状況(国直轄・県事業)

高知港海岸(国直轄)

- 種崎外縁地区の堤防の耐震化を継続
- タナスカ地区の護岸の耐震化を継続

高知港海岸(県事業)

- 潮江、高須、浦戸湾各地区の堤防の耐震工事を継続

河川事業(県事業)

- 下田川、国分川の堤防の耐震工事を継続

《政策提言》 高知市の被害最小化で県全体の早期復旧・復興につながる地震・津波対策を早急に完成させるには、事業の着実な推進が必要です。
「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の各年度予算を十分に確保するとともに、令和5年度補正予算についても例年以上の規模での確保をお願いします。